

令和6年度 常葉大学・常葉大学短期大学部
第3回FD・SD研修会（全学共通研修会）報告

日 時	令和6年9月18日（水）	15時10分～16時30分
研修内容	これからの防災対策について	
講 師	常葉大学 副学長 阿部 郁男	
場 所	常葉大学静岡草薙キャンパス	A201 教室
	静岡瀬名キャンパス	大会議室
	静岡水落キャンパス	301 教室
	浜松キャンパス	601 教室
出席者数	常葉大学静岡草薙キャンパス	205 人
	静岡瀬名キャンパス	23 人
	静岡水落キャンパス	60 人
	浜松キャンパス	118 人
	合 計	406 人

※出席者数には、オンライン（Zoom）による視聴者、短大部教職員、学生も含む。

令和6年度第3回FD・SD研修会（全学共通研修会）を開催した。

第3回は「これからの防災対策」を研修内容として、本学阿部郁男副学長による講演を行った。本学教職員のみならず、学生の参加も可能とし、日頃から防災意識を高めて災害等に備えて行動できるよう本研修の目的として実施した。

平成23年東日本大震災、平成28年熊本地震等、自然災害に対する関心が年々高まっている中、本県においては、令和6年8月上旬に南海トラフ臨時地震情報、同年8月下旬に台風10号の影響等、災害に対する意識がより高まっている最中であった。そのような状況下において、9月本研修では、静岡市（草薙キャンパス・瀬名キャンパス・水落キャンパス）及び浜松市（浜松キャンパス）の地理的狀況を踏まえて、地震災害及び豪雨災害を中心に、ハザードマップ等の公的な情報の重要性、そして何よりも日頃から自身の居住地や通勤・通学経路における災害発生時のシミュレーションの重要性について説明があった。災害発生時の仕組・理屈を知ること、社会と地域の実態を知ること、備え方を学ぶこと、災害発生時の対処の仕方を学ぶこと、そして、それを実践に移すことが大切となる。

地震を始め、津波・台風・大雨による土砂災害及び火山活動等の自然災害に対する日常的な意識醸成を踏まえて、更なる教職員・学生・地域の安心及び安全に向けて、本学全体して継続的な研修の実施を図る。